

令和8年3月6日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立大正幼稚園
所在地	台東区入谷2-23-8

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然と食育・伝統文化

<テーマの設定理由>

○都会の中にある園なので、家庭では自然との触れ合いを十分にもつことは難しい。園内に花や野菜などを植え、意図的に自然との触れ合いがもてる環境を作っている。親子栽培の機会を設けたり、生き物呼び込む環境を作ったりすることで、直接見たり触れたりしながら、小さな変化に気付いたり生長を喜んだりしている。5歳児は自分で作った野菜を収穫したり、調理したりすることで、生活体験も広がり食育にもつなげることができている。

○自然のことをよく知っている講師に来てもらい実際に花や昆虫について教えてもらうことで、興味関心が広がり、もっと深く知りたいという気持ちにつながる。

○本園は、以前から地域との関わりが深く、日本の伝統文化に触れる機会を大切にしている。お茶会や太鼓など、家庭ではできないような活動を通して本物に触れ、様々な直接体験をすることで、幼児の興味関心を広げ日本の伝統文化を大切にする気持ちを養いたい。

2. 活動スケジュール

5月	全園児親子栽培	6月	太鼓の会	カレー会食	
7月	花の植え替え	栽培物の収穫と試食			
9月	親子自然教室	太鼓の会	10月	いもほり	おいもパーティ
11月	太鼓の会	花の植え替え	1月	昔のお正月遊びの会	花の植え替え
2月	お茶会	栽培物の収穫と試食			

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・栽培用の土や野菜・花の苗
・観察用透明ケースやルーペ・デジタルカメラ
・調理用まな板・子ども用の包丁
・和太鼓 など

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

活動①栽培・食育活動

親子で一緒に夏野菜を育てました。3歳児はミニトマト、4歳児はナス、5歳児はピーマン・ナス・ミニトマト・オクラから親子で好きなものを選んで育てました。土に直接触れ、小さな苗を親子で植え、毎日水をあげたり、脇芽をとったりしながらお世話をしていくことで、生長を楽しみながら、野菜を身近に感じ、苦手な野菜も食べてみようとする姿が見られました。また学級ごとに様々な野菜を育てたり、収穫した野菜を洗ったり、包丁で野菜を切ったりする生活経験を通して食べる意欲につながりました。

活動②花の植え替え

大正幼稚園の周囲にあるプランターの花の植え替えを5歳児ぞう組が行いました。自分で植えたい花の色を選び、シャベルで穴を掘ってポットから外した花苗を植えます。土をこぼさないようにしながら、丁寧に植えることができました。自分たちの通う幼稚園をお花でいっぱいにする心地よさや、色合いを考えて植える楽しさを感じることができました。

活動③自然との出会い

講師の先生をお招きして、親子自然教室を開催しました。大正幼稚園にある草花の話や、虫の話をしていただいたり、子供たちの質問に答えていただいたりしました。虫の話に興味をもった子供たちは、その後も遊びの中で虫探しを楽しみ、自然との関わりが深まるきっかけとなりました。また、日常的に蝶やザリガニなどの飼育・観察をしたり、園庭で生き物を見付けたりしています。今年は、デジタルカメラを購入したことで、幼児自身が気になる昆虫を撮影したり撮りたいものを探したりして興味の幅が広がっています。

活動④食育～お茶会～

お茶の先生をお招きして5歳児が小学校の和室でお茶の会を行いました。入室の仕方から、お菓子のいただき方、お茶の点て方・飲み方等、たくさんのお話をさせていただきました。その後も「お先に」「どうぞ」というやりとりを行ったり、ひな人形のお道具の中にあるお茶セットに興味をもったりと、日本の伝統文化に触れる貴重な経験となりました。

活動⑤伝統文化～太鼓の会～

太鼓の先生をお招きして、年3回の太鼓の会を行いました。毎年継続していることで、太鼓が身近なものとなり、太鼓に触れるのを楽しみにする姿が見られ、発達に応じて豊かな表現ができるようになってきています。5歳児は新しい太鼓の曲を教えてもらい、周年の記念パーティーで披露しました。太鼓の迫力や音の響きを心地よく感じられる幼児も多くなり、講師の先生を招いた演奏会では、思わず立ち上がって体を動かしている姿も見られました。年長児の演奏を年中児が真似して遊びの中に取り入れたりする姿が見られています。

活動⑥伝統文化～昔のお正月遊びを楽しむ会～

地域の方をお招きして、親子で火鉢を囲んであぶり出しをしたり、昔の遊びを体験したりしました。着物を着て昔のお正月の雰囲気親子で味わっています。地域の方から、遊び方や昔の様子を聞くことで、地域の方ともつながりを深めています。

〈活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり〉 〈活動の様子〉

○自分たちで育てたにんじんや玉ねぎ、ジャガイモなどを収穫してカレーを作りました。左手を猫の手にしながら一つ一つ丁寧に切っていました。「おうちでもやったことがあるよ」「にんじんはちょっと固いけど、切るのは楽しいね」などの声が上がりました。収穫したじゃがいもやにんじんの数を数えて、会食に足りない分の材料を近所のスーパーに買いに行きました。にんじんは 66 本も収穫できました。



○昔のお正月遊びを楽しむ会では、ミカンの汁で絵を描いた紙を炭火で炙りだしました。子供たちだけでなく親も「あー、出てきたね」「すごいね」などと声を上げ楽しんでいました。お手玉や糸電話、こままわしなども親子で楽しみました。



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

何よりも、直接体験が大切だと思います。特ににおいや触感などは、絵本やインターネットの知識などからは得られないものであり、幼児期に実体験を通して体と心に刻まれることだと思います。これからも、環境や教材、人材を活用して様々なことを子供たちが体得し、そこから興味の幅を広げたり、好きなことを探究したりしていけるように援助していきたいと思っています。

以上